

2020年1月31日
株式会社 電通グループ
代表取締役社長執行役員 山本 敏博
(東証第1部 証券コード：4324)

電通グループ、米国「4サイト社」買収により、 マークル社のデータマーケティング・サービスを強化

株式会社 電通グループ（本社：東京都港区、代表取締役社長執行役員：山本 敏博、資本金：746億981万円、以下「当社」）は、連結子会社で海外事業を統括する「電通イージス・ネットワーク社」※を通じて、1st パーティデータを活用したマーケティングテクノロジーに強みを持つ米国の「4Cite Marketing, LLC」（本社：ニューヨーク州オールバニー市、CEO：Bob Gaito、以下「4サイト社（フォーサイト社）」）の株式100%を取得しました。

2010年に設立された4サイト社は、個人データ保護の認識の高まりに伴い世界的に3rdパーティクッキー使用からの脱却が進む中、1stパーティクッキーを活用した独自のマーケティングテクノロジーを、特にeコマース領域において提供する企業として成長してきました。高度なデータ分析、オンライン・実店舗を横断したりリアルタイムなデータ統合などを通じ、生活者一人ひとりに合わせた優れた顧客体験を、約350社の顧客企業に対して提供しています。

本件買収の目的は、当社のグローバルネットワーク・ブランドの1つで、テクノロジーを活用したデータ分析に強みを持つデータマーケティング会社「Merkle」（本拠地：米国メリーランド州、以下「マークル社」）が提供する、顧客企業ごとの個人IDデータを蓄積できるプラットフォーム「M1（エムワン）」の精度・能力を強化・拡充することにあります。4サイト社が提供する1stパーティクッキーを活用したマーケティングテクノロジーとM1を連携させることで、M1のIDデータの更なる精度向上、アイデンティティグラフの質と規模の拡大が期待されます。

今後当社は、4サイト社の買収を通じて、多くのFortune1000企業に対して、マークル社のM1活用でより高精度で競争力の高いデータマーケティング・サービスを提供していきます。

なお、本件が当社の2020年12月期の連結業績に与える影響は軽微です。

※電通グループの海外事業を統括する「電通イージス・ネットワーク社」（本社：英国ロンドン市）は、10のグローバルネットワーク・ブランドを中心に世界でビジネスを展開しています。10のブランドとは、Carat、Dentsu (Dentsu Brand Agencies)、dentsu X、iProspect、Isobar、mcgarrybowen、Merkle、MKTG、Posterscope、Vizeumを指します。

【4サイト社の概要】

正式社名：4Cite Marketing, LLC（4サイト社）
本社所在地：米国ニューヨーク州オールバニー市（ニューハンプシャー州にも拠点を持つ）
設立：2010年7月
株主構成：株式取得後、電通イージス・ネットワーク社100%
収益(Revenue)：約770万USドル（約8.4億円）（2019年12月期）
代表者：Bob Gaito (CEO)
従業員数：50名
事業内容：テクノロジーを活用したデータマーケティング・サービス

以上